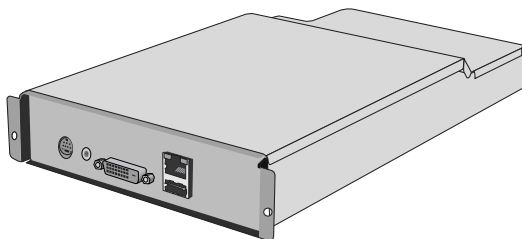


メディアプレーヤー

(SB-L008KU)

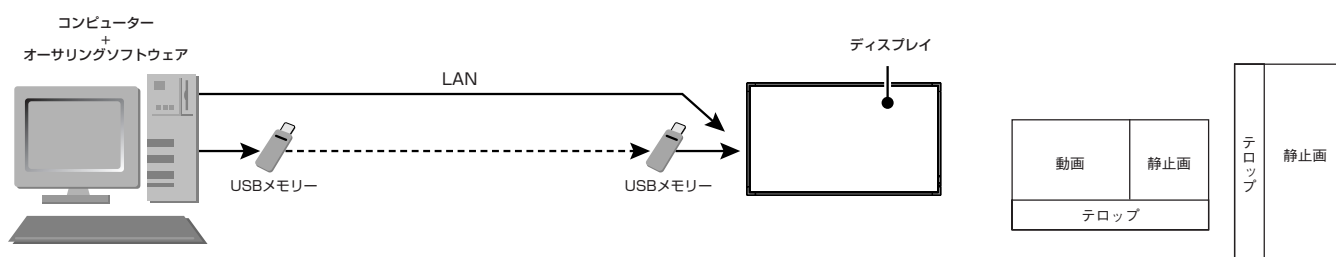
取扱説明書 Ver.1.10



はじめに

●メディアプレーヤーとは

画像や音声などのコンテンツ(素材)を組み合わせで作成した番組を、ディスプレイ上で表示するためのツールです。番組は、添付のオーサリングソフトウェアによって作成し、LANまたはUSBメモリーを用いて配信されます。



●オーサリングソフトウェアとは

レイアウト設定

動画、静止画、テロップを組み合わせ希望のレイアウトを設定できます。

スケジュール機能

時間を決めて番組を表示する機能です。毎日の番組スタート時間、終了時間または特定日時の番組スタート時間、終了時間が設定できます。

配信機能

USBメモリー経由または、最大20台までのメディアプレーヤーへLAN経由で番組データを配信します。

ご使用前に

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

注意

この装置は、VCCIのクラスA規格を取得しています。この装置をVCCIのクラスB規格を取得している液晶ディスプレイに取り付けた場合、液晶ディスプレイ本体のVCCIはクラスB規格からクラスA規格に変更されます。

取り扱い時の注意に関しては、液晶ディスプレイの取扱説明書内の「安全のために必ず守ること」を参照ください。

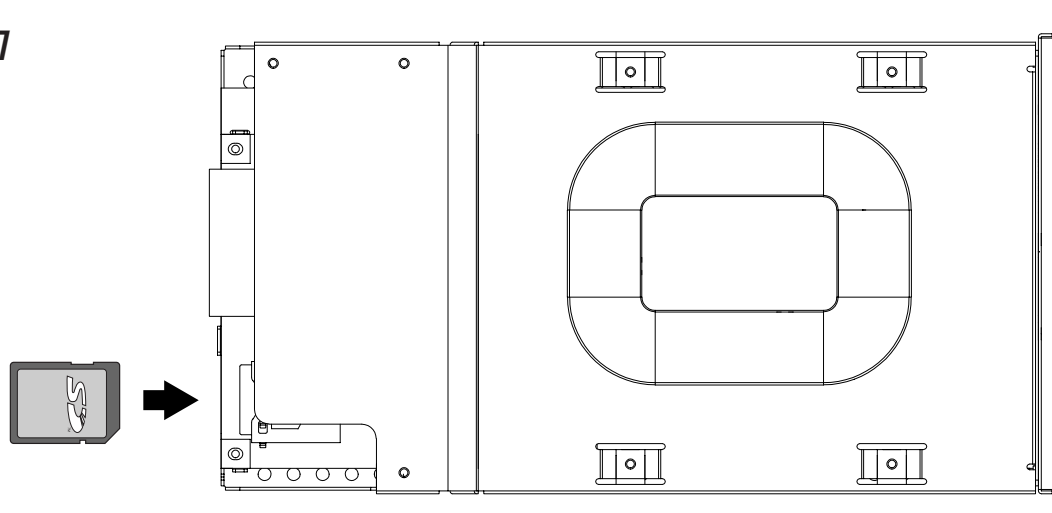
Intel及びIntel pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。SDロゴは商標です。Microsoft®、MS、Windows®、PowerPoint®、Windows Media®、Internet Explorer®、Internet Explorer®のロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

設置方法

警告

設置の際、キャビネットの内部に異物が入らないようにご注意ください。

1



添付のSDメモリカードをメディアプレーヤーのメモリカード用コネクタへ、ラベル面が上になるようにして、奥まで押しこんでください。

注意

ライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチがLOCKになっていないことを確認してください。

2

ディスプレイの主電源を切ります。
ネジ(ネジA)を2カ所外し、ハンドルを取り外します。



3

ネジ(ネジB)を2カ所外し、OPTIONスロットのカバーを取り外します。



4

メディアプレーヤーをディスプレイに取り付けます。



5

メディアプレーヤーを2本のネジ(ネジB)で固定します。



6

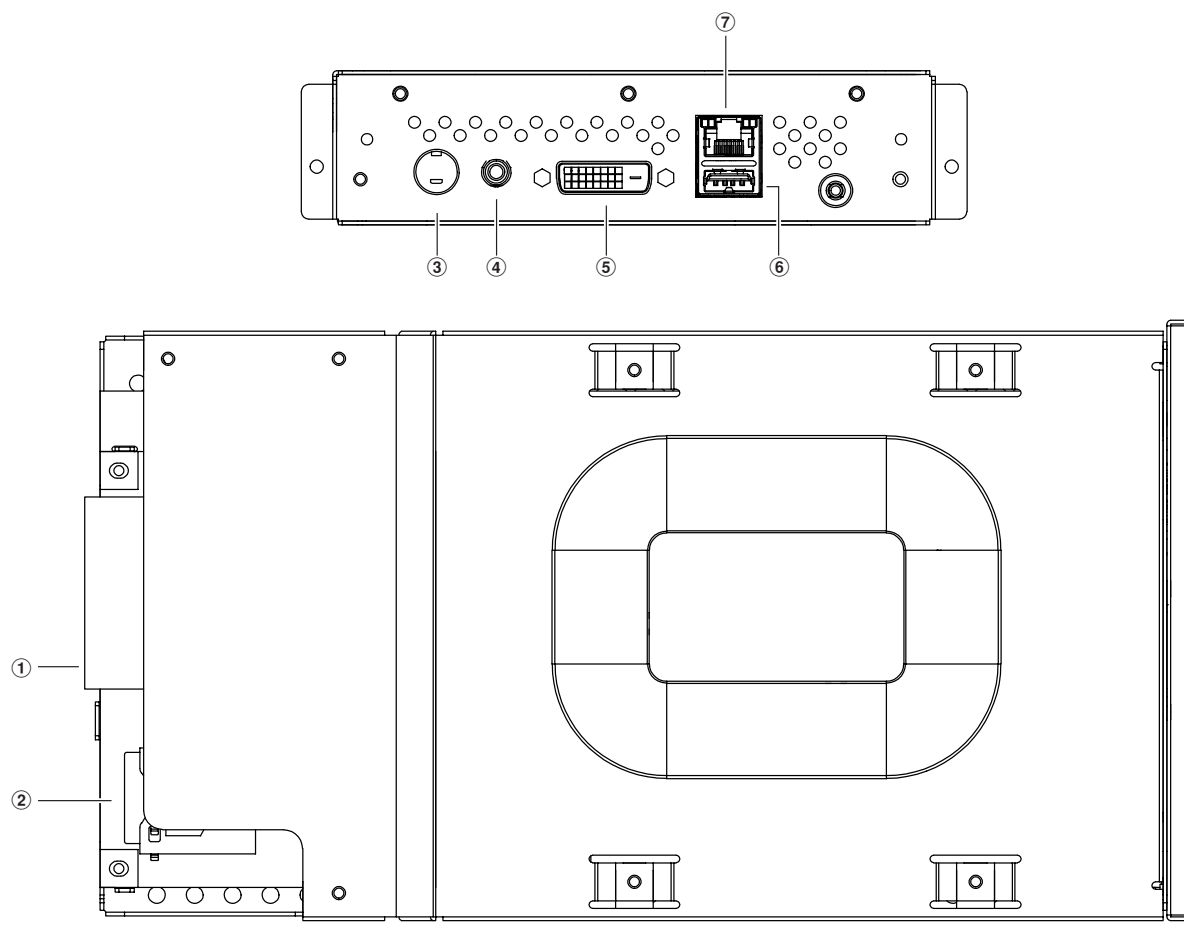
ハンドルを2本のネジ(ネジA)で固定します。



付属品一覧

- ・メモリーカード
- ・USB延長ケーブル
- ・セットアップガイド
- ・ユーティリティーディスク
(添付ソフトウェア&取扱説明書)
- ・保証書
- ・コンポーネント入力変換ケーブル

各部の名称



① スロットインタフェース

ディスプレイ本体との接続用コネクタです。

② メモリーカード用コネクタ

付属のメモリーカードをセットしてください。

③ ビデオ入力コネクタ

DVDプレーヤーなどの映像機器を接続し、映像機器からの動画をテロップや、静止画と共に配置することができます。

S端子出力 または、添付のコンポーネント入力変換ケーブルによりコンポーネント出力を持つ映像機器を接続することができます。

④ オーディオ入力コネクタ

ビデオ入力コネクタを使用するときに、映像機器からの音声出力を接続します。

⑤ DVI出力コネクタ(DVI-D)

DVI-D入力を持つ外部ディスプレイを接続することができます。

メディアプレーヤーの映像を外部ディスプレイに表示することができます。

注意

ビデオ入力コネクタからの外部ビデオ映像を使用する番組は、DVI出力コネクタへは表示しません。本装置を装着したディスプレイにのみ表示します。

⑥ USBメモリー用コネクタ

番組データを入れたUSBメモリーを接続します。取り付け場所等によってUSBメモリー用コネクタの使用が難しい場合は、付属のUSB延長ケーブルをご使用ください。

⑦ LANコネクタ

番組データをLAN経由で配信する場合にLANケーブルを接続します。

リモコンの使用法

本機の操作はディスプレイに付属のリモコンを使用します。

メディアプレーヤーの選択

リモコンのOPTIONボタンを押します。

メディアプレーヤーOSDの選択

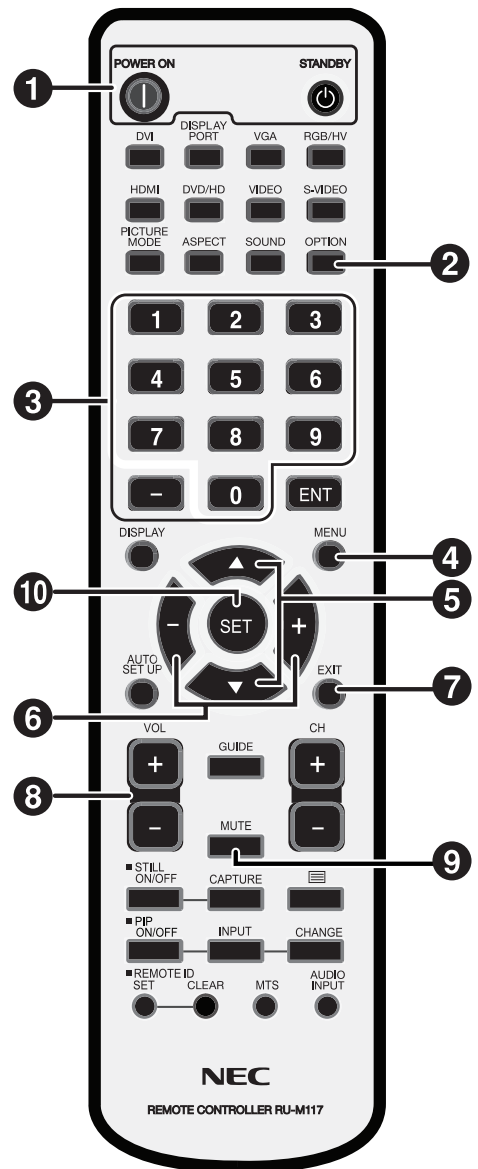
ディスプレイの入力信号が「OPTION」のときは、OPTIONボタンを押してメディアプレーヤーOSDを表示/非表示します。

リモコン

注意

下記に説明のないボタンの詳細はディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

1. 電源ボタン(POWER)
電源をオン/オフするときに押します。
2. オプションボタン(OPTION)
入力信号を「メディアプレーヤー」に設定します。「メディアプレーヤー」に設定されているときは、メディアプレーヤーOSDを表示/非表示します。
3. 数字ボタン
日付/時刻の設定などに使用します。
4. メニューボタン(MENU)
ディスプレイOSDを表示/非表示するときに押します。
5. アップ/ダウンボタン(UP/DOWN)
OSD画面で設定項目を選択します。
6. マイナス/プラスボタン(-/+)
OSD画面で設定項目を選択します。
7. EXIT ボタン
ひとつ前のOSD画面に戻ります。
8. 音量調節プラス/マイナスボタン(VOL + / -)
音量を大きく/小さくするときに使用します。
9. ミュートボタン (MUTE)
音を消します。もう一度押すと音がでます。
10. SET ボタン
OSD画面で選択した内容を決定します。



接続

LANをご使用の場合は、本章の「接続/設定」完了後、「LAN接続/設定」(13ページ)をご参照ください。

準備

メディアプレーヤーを使用してディスプレイに番組を表示するには、添付のオーサリングソフトウェア、コンピューター、USBメモリー（USBメモリーにより番組を配信する場合）が必要です。

オーサリングソフトウェア

オーサリングソフトウェアは付属のユーティリティディスク内にあります。初回はお使いのコンピューターにオーサリングソフトウェアをインストールしてください。インストールの手順はオーサリングソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

USBメモリー

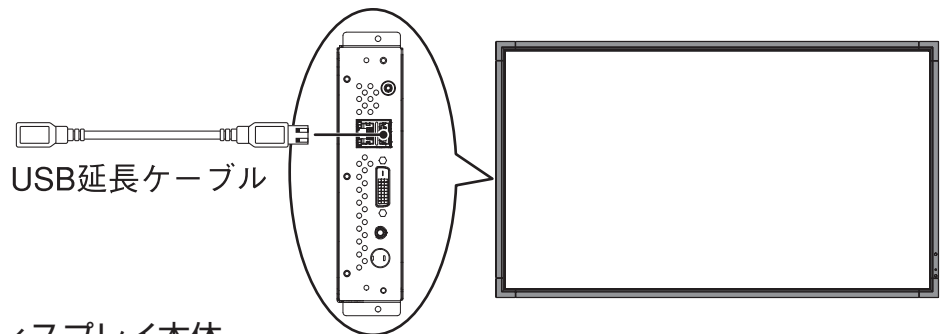
推奨USBメモリーの情報は、弊社ホームページをご参照ください。暗号化したものは、ご使用になれません。

USBメモリーを使用して番組を配信する場合の接続

1. 添付のメモリーカードをメモリーカード用コネクタにセットします。
(設置方法2ページ参照)

注意

メモリーカードのラベル面が上側になるようにセットしてください。ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがLOCKになっていないことを確認してください。



2. メディアプレーヤーをディスプレイ本体に装着します。(設置方法2ページ参照)
3. USBメモリー用コネクタにUSB延長ケーブルをセットします。
(USBメモリーで番組を配信する場合)

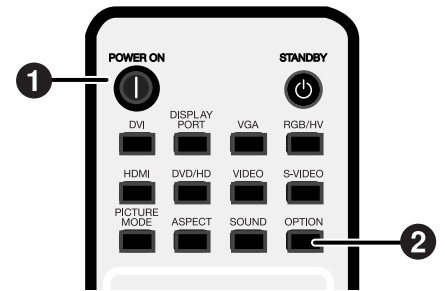
ディスプレイに
付属のリモコン



設定

メディアプレーヤーの設定

1. ディスプレイの主電源スイッチをONします。
2. リモコンの「POWER ON」ボタンでディスプレイの電源を入れます。
3. リモコンの「OPTION」ボタンを押し、映像入力を「OPTION」にします。約1分でメディアプレーヤーが起動します。
4. 起動後、「OPTION」ボタンを押しメディアプレーヤーのOSD画面を表示し、①～④を設定します。



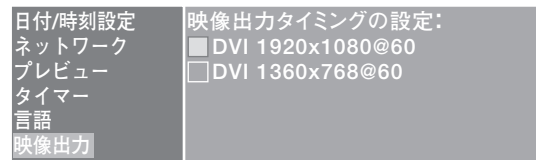
① 言語設定

表示言語を日本語にしてください。



③ 映像出力

表示するディスプレイの最適解像度にあわせて、「映像出力」を設定してください。



② 日付/時間設定

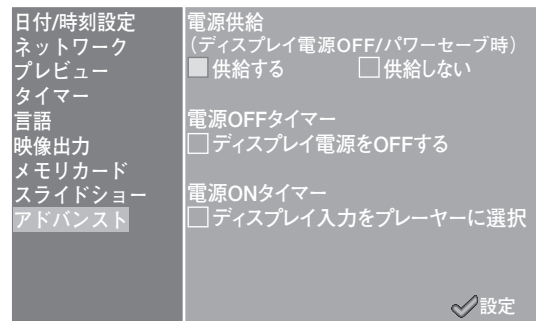
日付と時間を設定し、「設定」ボタンを選択してください。



④ メディアプレーヤーの電源供給

「アドバンスト」メニューの中の電源供給を「供給する」に設定し、「設定」を選択します。

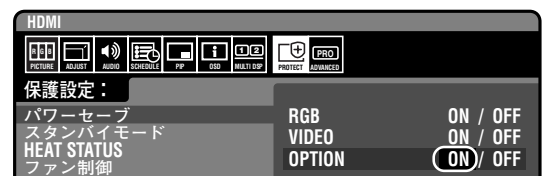
※出荷時は「供給しない」に設定されています。



ディスプレイの設定

引き続き⑤～⑨を設定します

- ⑤ ディスプレイの電源を一旦OFFし、再度ONします。
- ⑥ 「MENU」ボタンによりディスプレイのOSD画面を開きます。
- ⑦ 「保護設定」→「スタンバイモード」から「スタンバイ」を選択します。
- ⑧ 「保護設定」→「パワーセーブ」→「OPTION」から「ON」を選択します。
- ⑨ 「MENU」ボタンによりOSD画面を閉じます。



電源の状態と操作方法

・電源ON

リモコンの「POWER ON」キーを使用します。メディアプレーヤーとディスプレイが同時にONします。

注意

メディアプレーヤーは、電源ONから起動に約1分かかります。起動中は表示信号がありませんと表示されることがあります。

・電源OFF

リモコンの「STANDBY」キーを使用します。メディアプレーヤーとディスプレイが同時に電源OFFします。

・パワーセーブモード

番組が設定されていない時間帯は、起動後、「現在、表示予定のプログラムはありません」のメッセージを表示し、約1分後、パワーセーブモードに入ります。

ディスプレイの電源ランプは橙色に点滅します。

番組の開始時間には、自動的にパワーセーブから電源ONに復帰し、番組を表示します。

パワーセーブモード中に、メディアプレーヤーのOSD画面を表示させる場合は、リモコンの「POWER ON」ボタンを押し、電源ON後に、「OPTION」ボタンを押してください。

お知らせ

以下の場合、パワーセーブモードには入りません。

メディアプレーヤーのOSD画面を表示させる場合は、「OPTION」ボタンを押してください。

・ディスプレイの「OPTIONのパワーセーブセーブ設定」をOFFに設定した場合。

・メディアプレーヤーのアドバンスメニューの電源供給を「供給しない」に設定した場合。

各電源状態の動作可否

以下の表に従います。

○:可、×:不可

動作	電源状態	電源ON	電源OFF	パワーセーブモード
		緑色*	橙色*	橙色点滅*
LANによる番組配信		○	○	○
番組表示(スケジュールによる表示)		○	×	○

※電源ランプ

番組データの作り方

コンテンツ(素材)の準備

まず、表示したいコンテンツを準備します。

オーサリングソフトウェアで利用可能なコンテンツファイルは以下の通りです。

	ファイル形式	拡張子
静止画	(JPEG、PNG、BMP)	*.jpg、*.jpeg、*.png、*.bmp
動画	MPEG1、MPEG2	*.mpeg、*.mpg、*.m2p、*.m2v、*.ts、*.vob
	Windows Media Video 9	*.wmv
オーディオ		*.mp3

注意

ファイルによっては、使用できない場合があります。詳しくは「コンテンツの仕様」をご覧ください。

お知らせ

PowerPointプレゼンテーションソフトウェアを使用して作成したデータ(*.ppt)は、付属のユーティリティーディスク内の変換ソフトウェアViewer PPT Converterを使用して静止画(*.jpg、*.png、*.bmp)に変換し、本機で利用することができます。ただし、アニメーションや動画は変換できません。

オーサリングソフトウェアを使用して番組データを作成する

コンピューター内のオーサリングソフトウェアをクリックして起動します。

オーサリングソフトウェアの詳しい使用方法是オーサリングソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

作成した番組データはオーサリングソフトウェアの「配信」機能を使用して、コンピューターに接続したUSBメモリーに保存してください。

番組データをメディアプレーヤーのメモリーカードにコピーする

1. 番組データを入れたUSBメモリーを用意します。
2. リモコンの「STANDBY」ボタンを押してメディアプレーヤーの電源を切ってから、番組が入っているUSBメモリーをUSB延長ケーブルにセットしてください。

お知らせ

USB延長ケーブルを使用しない場合は、メディアプレーヤー本体のUSBメモリー用コネクタに直接USBメモリーをセットしてください。

注意

アップデートをおこなうと、メディアプレーヤー内の番組データは上書きされます。旧番組データは失われますのでご注意ください。

3. リモコンの「POWER ON」ボタンを押してメディアプレーヤーの電源を入れてください。画面にアップデートの確認画面が表示されるので、「SET」ボタンを押してください。USBメモリー内のファイルが本体内のメモリーカードにコピーされます。

注意

「重要!!! 現在アップロード中。」の文字が表示されている間は、USBメモリーを取り外したり電源を遮断したりしないでください。USBメモリーまたはメモリーカード内のデータが壊れる場合があります。

4. コピー完了後、自動的に再起動します。本体のイニシャライズが終了すると(約1分かかります)再度アップデートの確認画面が表示されます。EXITボタンを押してキャンセルしてください。
5. USBメモリーをUSB延長ケーブルから抜いてください。

注意

番組データの最大容量は1.8G byte (添付のSDカード(2Gbyte)の場合)です。番組データをメディアプレーヤーにコピーする際は、USBメモリー内のコンテンツデータ容量がこの値を超えないように注意してください。メディアプレーヤーにセットされているSDカードの最大容量は、OSD画面の「メモリーカード」で確認できます。

番組データのアップデート時間は、データ容量が1.8Gbyteの場合、最大約15分かかります。

OSD

メニュー	サブメニュー	内容
日付/時刻設定	日付	現在の日付と時間を設定します。
	時間	
	NTPサーバー	本機では未使用です。
	タイムゾーン	本機では未使用です。
ネットワーク	固定IP/DHCP	IPアドレスの設定方法を選択します。
	IP	固定IP選択時に利用するIPアドレスを設定します。出荷設定値は(192.168.0.2)
	Netmask	固定IP選択時に利用するNetmaskを設定します。出荷設定値は(255.255.255.0)
	Gateway	本機では未使用です。出荷設定値(192.168.0.1)のままにしてください。
	DNS	本機では未使用です。出荷設定値(0.0.0.0)のままにしてください。
	MAC	本機のMACアドレスです。
	Proxy	本機では未使用です。出荷設定値(0.0.0.0)のままにしてください。
	LANからのアップデート方法	プッシュモード(出荷設定値)にしてください。 プルモードは本機では未使用です。
	プレビュー	
タイマー	電源ON/OFF	本体の電源をON/OFFします。オーサリングソフトウェアの電源管理により、電源ON/OFFの時間が設定されている場合は、このタイマー設定は無効になります。 ※オーサリングソフトウェアの電源管理で設定した時間が画面の下半分に表示されます。
言語		OSDメニューの言語を選択します。
映像出力		ご使用のディスプレイに合わせて、映像出力を選択します。
メモリカード	空き領域	残りの使用可能領域です。
	利用可能領域	コンテンツが利用できる最大容量です。 目安として、メモリーカード容量の約90%になります。(付属のメモリーカード(2G byte)の場合は、1.8G byte前後で表示されます。)
	コンテンツ全消去	コンテンツを全消去します。
スライドショー	標準モード	オーサリングソフトウェアで設定したスケジュールに従って番組が表示されます。
	スライドショーモード	接続されているUSBメモリー内の静止画(*.jpg、*.jpeg、*.png、*.bmp)を名前順に連続表示するモードが設定できます。
	動画再生モード	接続されているUSBメモリー内の動画(*.wmv、*.mpg)を名前順に連続表示するモードが設定できます。
アドバンスト	電源供給 (ディスプレイ電源OFF/パワーセーブ時)	ディスプレイは、電源OFFまたはパワーセーブモード時、メディアプレーヤーへ電源供給をする/しないを設定します。 ■「供給する」 通常はこの状態でご使用ください。 ※本体ディスプレイの設定も必要です。6ページの「設定」を参照ください。 ■「供給しない」 電源タイマー機能および、電源OFF時のLAN経由の番組配信は利用できません。 ※ディスプレイ電源OFF時の消費電力を低減できます。
	電源OFFタイマー <input type="checkbox"/> ディスプレイの電源をOFFする。	■(有効): メディアプレーヤーの電源タイマーOFF時、メディアプレーヤーとディスプレイの両方を電源OFFします。 <input type="checkbox"/> (無効): メディアプレーヤーの電源タイマーOFF時、メディアプレーヤーのみ電源OFFします。※出荷時は無効
	電源ONタイマー <input type="checkbox"/> ディスプレイ入力を メディアプレーヤーに選択	■(有効): メディアプレーヤーの電源タイマーON時、ディスプレイ入力をメディアプレーヤーへ切替えます。 <input type="checkbox"/> (無効): メディアプレーヤーの電源タイマーON時、ディスプレイ入力は切替わりません。※出荷時は無効
	コンポーネントビデオ入力周波数	コンポーネントビデオ入力からの映像信号の周波数を選択します。

スライドショーモード／動画再生モード

USBメモリー内の静止画像データ (*.jpg, *.jpeg, *.png, *.bmp) または、動画ファイル (WMV9, MPEG1, MPEG2) を名前順に連続表示する機能です。オーサリングソフトウェアを使用することなく、静止画像データまたは、動画データを表示できます。

スライドショーモードの設定方法

1. 表示したい静止画像データが入っているUSBメモリーをメディアプレーヤーにセットします。

お願い

- 静止画像が入っているフォルダーの名称は「media」以外にしてください。

2. OSDメニューの「スライドショー」で「スライドショーモード」を選択します。
3. 3秒から60秒までの時間指定が設定可能です。また、「Manual」に設定するとリモコン方向ボタン▲、▼によって表示を切り替えることができます。

注意

表示時間の設定は再起動後に有効になります。

4. 「フォルダ」でSETボタンを押して、表示したい静止画像が入っているフォルダー名を選択します。

注意

2階層目以降のフォルダーを指定することはできません。フォルダー名選択は再起動後に有効になります。

5. 「設定」を選択し、確認画面で「はい」を選択すると自動的に再起動します。

お知らせ

静止画像表示中、方向ボタン▲、▼を押すと前後の静止画像を表示します。

動画再生モードの設定方法

1. 表示したい動画ファイルが入っているUSBメモリーをメディアプレーヤーにセットします。

お願い

- 動画ファイルが入っているフォルダーの名称は「media」以外にしてください。

2. OSDメニューの「スライドショー」で「動画再生モード」を選択します。

注意

・フルスクリーンを選択すると、常時画面いっぱいに表示されます。

3. 「フォルダ」でSETボタンを押して、表示したい動画が入っているフォルダー名を選択します。

注意

2階層目以降のフォルダーを指定することはできません。フォルダー名選択は再起動後に有効になります。

4. 「設定」を選択し、確認画面で「はい」を選択すると自動的に再起動します。

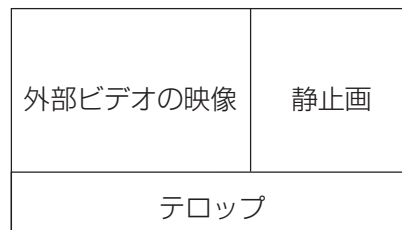
スライドショーモード／動画再生モードの解除方法

1. スライドショーまたは、動画再生表示時にリモコンのMENUボタンを押してOSDメニューを表示します。
2. OSDメニューの「スライドショー」で「標準モード」選択後に「設定」を選択し、確認画面で「はい」を選択すると自動的に標準モードで再起動します。

外部ビデオを使用した番組データの作り方

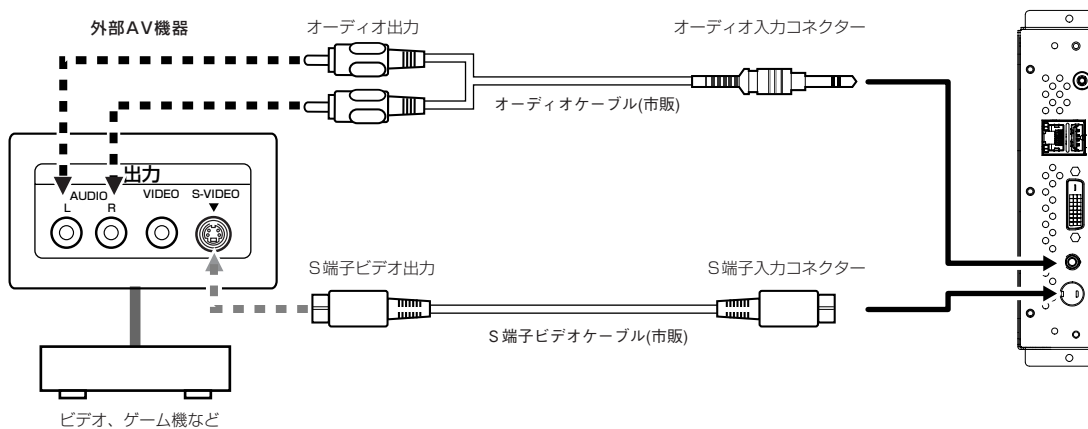
S端子入力コネクタからの外部ビデオの映像を、静止画やテロップと一緒に表示できます。(詳しくはオーサリングソフトウェアの取扱説明書をご覧ください)

番組レイアウト例

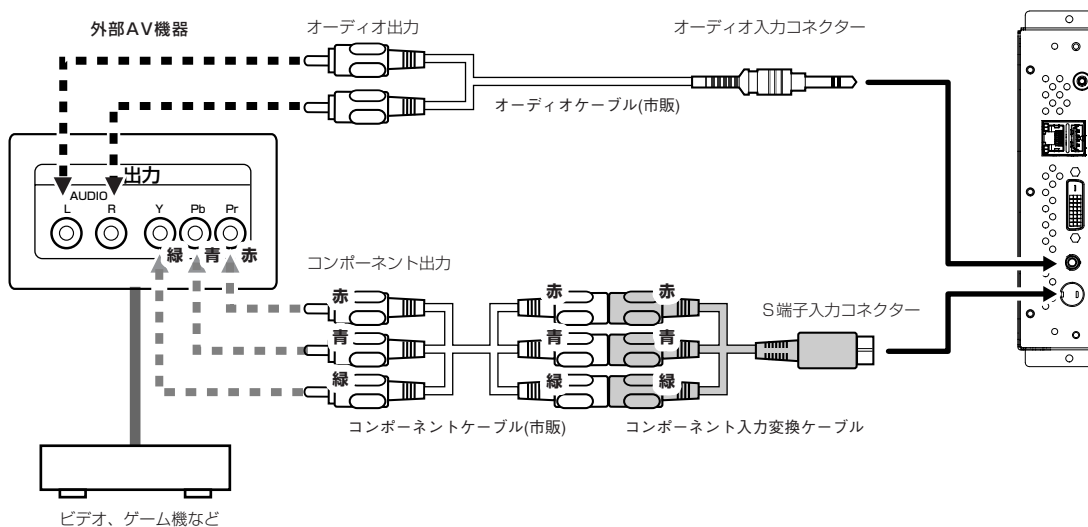


市販AV機器との接続は以下のようになります。

S端子出力のAV機器との接続



コンポーネント出力のAV機器との接続



お知らせ

外部ビデオ映像を使用する番組は、DVI出力コネクタへは表示しません。
本装置を装着したディスプレイにのみ表示します。

LAN 接続 / 設定

はじめに

LAN経由で番組データを配信する場合、LANの接続と設定が必要になります。

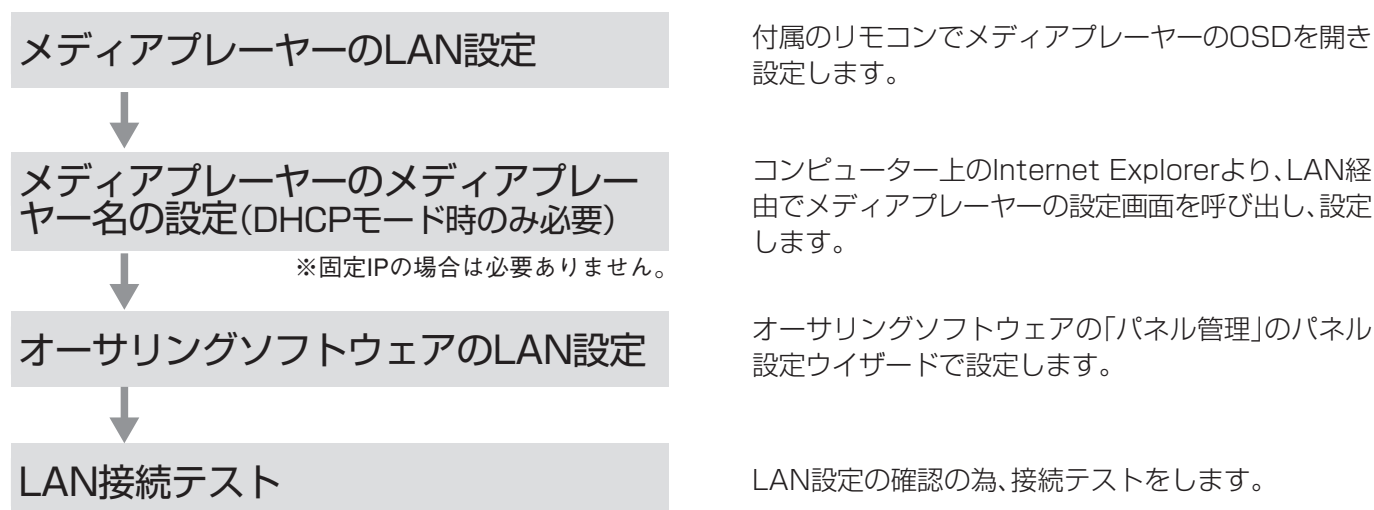
IPアドレスの設定方法は、固定IPアドレスの場合とDHCPサーバー使用の2通りがあります。

固定IPアドレスの場合は、「LAN接続/設定:固定IPアドレス使用の場合」を、DHCPサーバー使用の場合は「LAN接続/設定:DHCPサーバー使用の場合」をご参照ください。

お知らせ

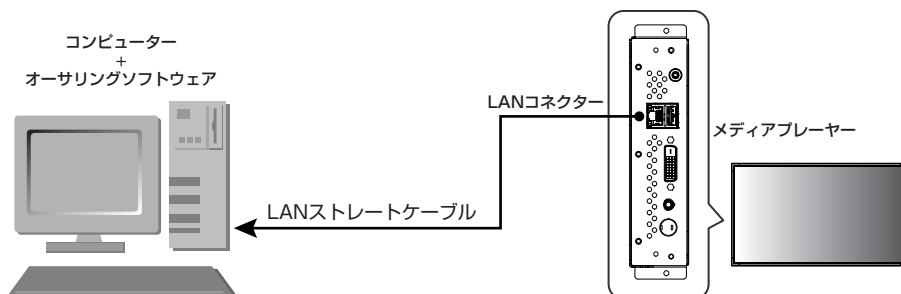
DHCPサーバーはネットワーク上の機器にIPアドレスを提供します。通常、ルーターに内蔵されています。

LAN設定は次の流れになります。

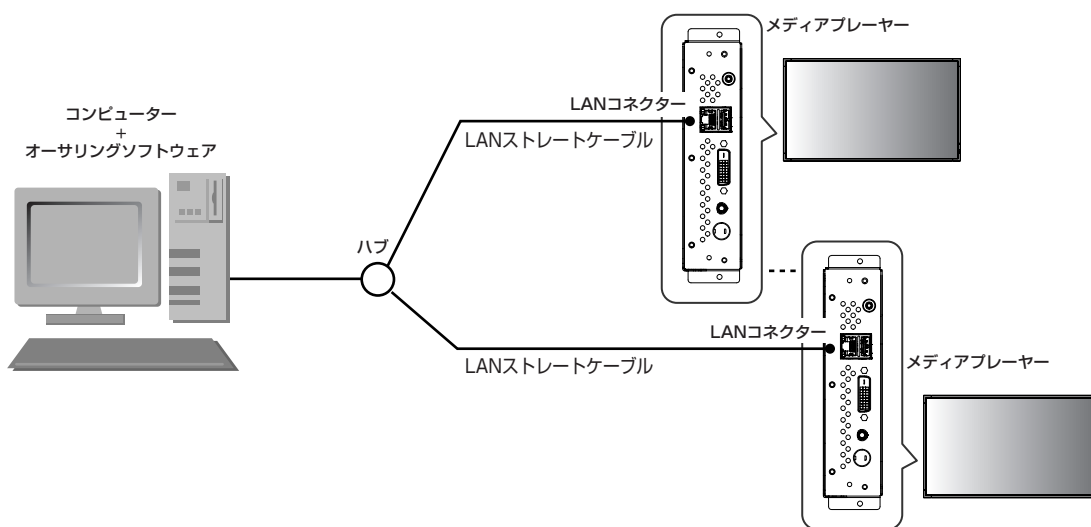


LAN 接続／設定(つづき)

●コンピュータと直接接続する場合



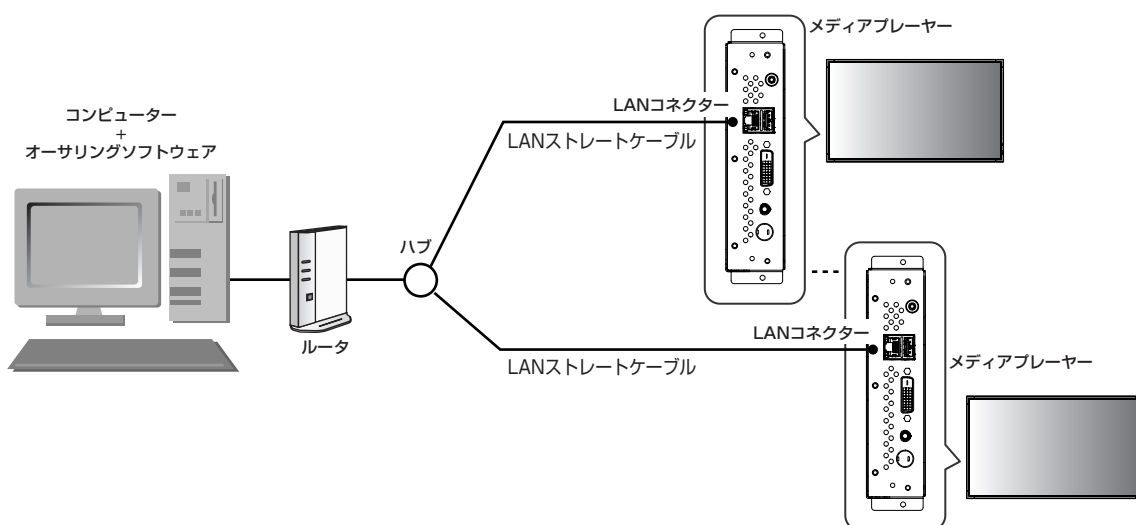
●コンピュータとハブ経由で複数台接続する場合



●DHCPサーバー(ルーターに内蔵)を利用する場合

お知らせ

「LAN接続/設定:DHCPサーバー使用」をご参照ください。



お知らせ

最大20台までのメディアプレーヤーの接続が可能です。

注意

ルーターのWAN側端子ではなくLAN側端子に、コンピュータおよびメディアプレーヤーを接続してください。
ルーター、LANケーブル、ハブは市販のものを別途準備願います。
カテゴリ5以上のLANケーブルをお使いください。

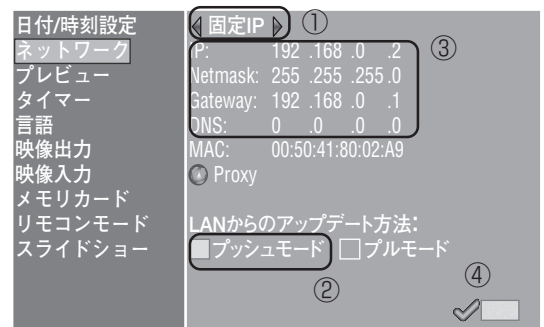
LAN 接続／設定：固定 IP アドレス使用の場合

1. メディアプレーヤーの固定 IP アドレス設定

- 1) メディアプレーヤーとディスプレイの電源を入れます。
- 2) リモコンのメニューボタンにより OSD 画面を表示し、「ネットワーク」を開きます。
- 3) IP アドレスを設定します。

固定 IP アドレスの設定

- ① リモコンの左右方向ボタンで「固定 IP」を選択してください。
- ② 「ブッシュモード」を選択してください。
- ③ リモコンの数字ボタンで下表のように設定してください。
設定した IP アドレスはメモ等に控えておいてください。
- ④ 「設定」を選択します。
- ⑤ EXIT ボタンで OSD メニューを終了します。



IP	コンピューターの IP アドレスを調べ、アドレスの末尾のみ変更し、他のメディアプレーヤーの IP アドレスと重複しない値を設定します。 例) コンピューターの IP アドレス: 192.168.0.10 の場合, 1 台目のメディアプレーヤーには 192.168.0.2 を設定。 2 台目のメディアプレーヤーには 192.168.0.3 を設定。
Netmask	コンピューターの Netmask と同じ値を設定します。出荷設定値は (255.255.255.0)
Gateway	出荷設定値のままにしてください。出荷設定値は (192.168.0.1)
DNS	出荷設定値のままにしてください。 出荷設定値は (0.0.0.0)

ご注意

コンピューターの IP アドレスはネットワーク環境に合わせて設定してください。

お知らせ

コンピューターの IP アドレス、Netmask を確認するには、Windows XP/Vista/7 の、「コマンドプロンプト」(スタートメニュー/すべてのプログラム/アクセサリの中にあります。)を起動し

C:¥> ipconfig を実行してください。

LAN 接続／設定：固定 IP アドレス使用の場合(つづき)

2. オーサリングソフトウェアのパネル登録

オーサリングソフトウェアの「パネル管理」メニューの中の
パネル設定ウィザードのボタンをクリックします。

オーサリングソフトウェアのパネル
設定ウィザードの起動ボタン



オーサリングソフトウェアの IP
アドレス設定

- ① 配信先名の設定
変更必要なければ、そのまま「次へ」をクリックします。
- ② 接続形態の設定で、LAN(固定IP)を設定。
- ③ 1.で設定したIPアドレスを入力します。
- ④～⑥ 必要に応じ設定し、「次へ」をクリックします。
- ⑦ 設定内容を確認し「完了」をクリックします。



全てのメディアプレーヤーに対し①～⑦を実行し、パネル管理の画面で設定
内容を再確認してください。以上で設定は完了です。

お知らせ

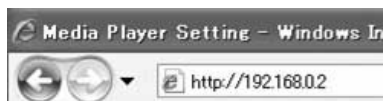
パネル管理の「パネルプロパティ」で上記の設定は変更することができます。

例 2台のメディアプレーヤーを登録



3. LAN接続テスト

- 1) コンピューター上で、Internet Explorerを起動し、アドレス欄に
「http://」に続きオーサリングソフトウェアで設定した固定IP
アドレスを入力します。



- 2) ユーザ名、パスワード画面が表示されたら、
ユーザ名: default パスワード : 0000 を入力します。
- 3) 設定画面が表示されることを確認します。

ユーザ名、パスワード画面



WEB設定画面

お知らせ

WEB設定画面より、メディアプレーヤーの設定確認ができます。

ご注意

Internet Explorer以外のブラウザでは正常に表示されない場合があります。

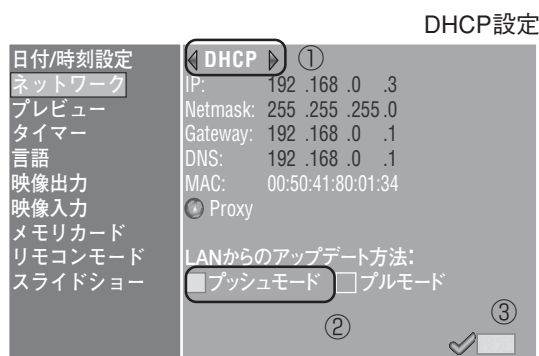


LAN 接続／設定：DHCP サーバー使用の場合

1. メディアプレーヤーをDHCPモードに設定

- 1) メディアプレーヤーとディスプレイ、ハブ、ルーターの電源を入れます。
- 2) リモコンのメニューボタンによりOSD画面を表示し、「ネットワーク」を開きます。
- 3) OSD画面で以下のように設定します。

- ①リモコンの左右方向ボタンで「DHCP」を選択。
- ②「プッシュモード」を選択。
- ③「設定」を選択。



2. メディアプレーヤー名の確認と設定

メディアプレーヤー名はオーサリングソフトウェアのパネル設定で必要になります。

- 1) コンピューターとメディアプレーヤー、DHCPサーバー(またはルーター)をネットワーク上で接続し、電源を入れます。
- 2) メディアプレーヤーのOSD画面の「ネットワーク」を開き、DHCPサーバーによりIPアドレスが正しく設定されていることを確認しメモに控えます。(0.0.0.0以外であれば設定されています。)
- 3) コンピューターのIPアドレスが設定されていることを確認します。

お知らせ

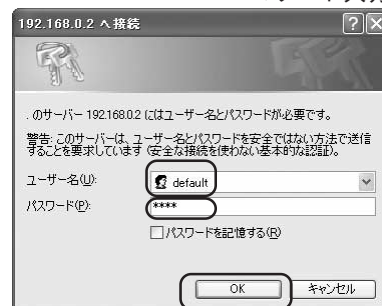
IPアドレスは、OSDでDHCPを設定時、または起動時に設定されます。

- 4) コンピューター上でInternet Explorerを起動し、アドレス入力に「http://」に続き2)で確認したメディアプレーヤーのIPアドレスを入力後、移動ボタンをクリックします。



例. http://192.168.0.2

設定画面のユーザ名とパスワード入力



- 5) ユーザー名とパスワードの入力画面が開きますので、半角で
ユーザー名:default
パスワード:0000
と入力しOKをクリックします。

ご注意

- DHCPサーバー、またはDHCPサーバー機能を有するルーターをご準備ください。
- ルーターの場合、DHCPサーバー機能を有効にしてください。
- コンピューターのIPアドレスはネットワーク環境に合わせて設定してください。

お知らせ

コンピューターのIPアドレス、Netmaskを確認するには、Windows XP/Vista/7の、「コマンドプロンプト」(スタートメニュー/すべてのプログラム/アクセサリの中にあります。)を起動し

C:> ipconfig を実行してください。

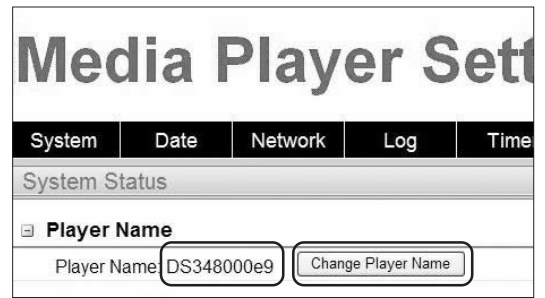
LAN 接続／設定：DHCP サーバー使用の場合(つづき 1)

6) 設定画面の表示後メディアプレイヤー名(Player Name)を確認します。

変更する場合は、ChangePlayerNameのボタンをクリックして、アルファベットで始まる半角15文字以内の名前を入れ、「Submit」ボタンをクリックします。(記号、スペースは使用できません)

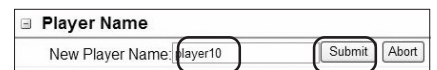
メディアプレイヤー名はメモ等に控えておいてください。

設定画面のメディアプレイヤー名



7) Internet Explorerを閉じます。

メディアプレイヤー名の変更



ご注意

他のプレイヤーのメディアプレイヤー名と重複しないように設定してください。アルファベットの太文字/小文字は区別されません。

お知らせ

メディアプレイヤー名の出荷設定値は、DS34XXXXXX

XXXXXXはメディアプレイヤーのMACアドレスの下6桁になります。MACアドレスはOSDの「ネットワーク」のMACで確認できます。

例. MAC:0050418000e9の場合、メディアプレイヤー名はDS348000e9です。変更せずにそのまま使用することもできます。

3. オーサリングソフトウェアのパネル登録

オーサリングソフトウェアの「パネル管理」メニューの中のパネル設定ウィザードのボタンをクリックし、ウィザードを起動します。

オーサリングソフトウェアのパネル設定ウィザードの起動ボタン



① 配信先名の設定

変更の必要がなければ、そのまま「次へ」をクリックします。

② 接続形態の設定で、LAN(DHCP)を設定。

③ 設定したメディアプレイヤー名を入力します。

④～⑥ 必要に応じ設定し、「次へ」をクリックします。

⑦ 設定内容を確認し「完了」をクリックします。

メディアプレイヤー名の設定



全てのメディアプレイヤーに対し①～⑦を実行してください。

パネル管理の画面で設定内容を再確認してください。

以上で設定は完了です。

お知らせ

パネル管理の「パネルプロパティ」で上記の設定は変更することができます。

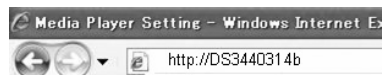
例 2台のメディアプレイヤーを登録



LAN 接続／設定：DHCP サーバー使用の場合(つづき 2)

4. LAN接続テスト

- 1) コンピューター上で、Internet Explorerを起動し、アドレス欄に「http://」に続きオーサリングソフトウェアで設定したメディアプレイヤー名を入力します。



例. http://DS3440314b

お知らせ

メディアプレイヤー名のアルファベットの大文字/小文字は区別されません。

- 2) ユーザー名、パスワード画面が表示されたら、
ユーザー名: default パスワード : 0000 を入力します。

- 3) 設定画面が表示されることを確認します。

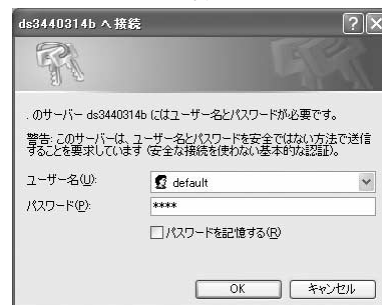
お知らせ

WEB設定画面より、メディアプレイヤーの設定確認ができます。

ご注意

Internet Explorer以外のブラウザでは正常に表示されない場合があります。

ユーザー名、パスワード画面



WEB設定画面



番組データをメディアプレーヤーへ配信する

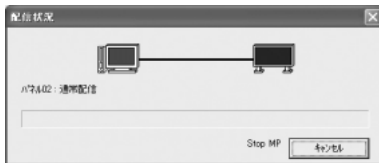
1. オーサリングソフトウェアを使用して番組を作成します。
付属CD-ROM内の「SB-L008KU簡易操作説明書」をご参照ください。
2. メディアプレーヤー、コンピューター、ハブ、ルーター等、ネットワーク上の機器の電源をONします。
3. オーサリングソフトウェアで「配信」ボタンをクリックします。
4. 配信先(メディアプレーヤーを意味します。)を選択します。
5. 必要に応じ、番組も選択します。
(配信先選択時、スケジュールに登録されている番組が選択されます。)
6. 配信実行ボタンをクリックします。
7. 選択した配信先に順番に番組データが配信されます。全ての配信先に配信後、終了します。

配信先と番組の選択



お知らせ

配信ログでエラー情報、配信番組が確認できます。



8. メディアプレーヤー側は配信開始時、番組表示を中断し、番組データを受信します。
受信中は以下のメッセージを表示します。

コンテンツアップデート中。絶対に電源を切らないでください。

注意

・番組表示がない場合に受信した時、メッセージは表示されず、黒画面のままになります。

9. メディアプレーヤーは番組データ受信後、番組データの生成します。
10. メディアプレーヤーは再起動(約1分かかります)し、以後、スケジュールに沿って、番組を表示します。

注意

- ・配信を実行すると、SDメモリーカード内の旧番組は消去されます。
- ・100Mバイトの番組を1台のメディアプレーヤーに配信する場合、
 - ①オーサリングソフトウェアの配信に約1分、②配信後のメディアプレーヤー側の番組データ生成処理に1分かかります。
*時間はPCの性能や、番組内容により変わります。
 - *②の後、メディアプレーヤーの再起動に約1分かかります。
- ・配信中および番組データ生成中は、電源を遮断しないでください。
- ・メディアプレーヤーが番組データ生成中(9., 10.)に、オーサリングソフトウェアから配信すると配信エラーになります。
メディアプレーヤーの再起動後に配信してください。

番組データの差分配信について

配信時間を短縮するために、LAN経由で再配信する番組は、番組内で新たに追加される動画、静止画、音声ファイルだけが配信されます。

番組種別	配信ファイル
新規配信する番組	番組に登録した全てのファイルを配信
再配信する番組 注1)	追加した動画、静止画、音声ファイルのみ配信。注2)

注1) 再配信とは、メディアプレーヤーに前回、同名の番組が配信されている状態です。

注2) テロップデータ、スケジュールファイルは必ず配信されます。

注3) 配信後、メディアプレーヤーは新たに配信されたファイルと既存ファイルにより新番組を生成します。不要な旧ファイル、旧番組は削除されます。

番組データ容量の上限

1台のメディアプレーヤーの番組データ容量の上限は以下の表を参照してください。

配信時、SDカードメモリー容量不足のエラー(エラーコード441)が出る場合は、番組データを減らす、または、SDメモリーカードの容量を増やしてください。

配信方法	番組データ容量の上限	例)
USBメモリー	SDメモリーカード容量の90%以内 注1)、注2)	2GバイトのSDカードの場合、1.8Gバイトまで。
LAN	SDメモリーカード容量の45%以内を目安にしてください。 注3)、注2)	2GバイトのSDカードの場合、目安として0.9Gバイトまで。

注1) 番組データ容量は各番組データの容量の総和になります。

1つの番組データの容量は登録した動画、静止画、音声データの容量の総和になります。

例) 1台のメディアプレーヤーに配信する番組が

番組1：静止画1、動画1を登録

番組2：静止画2、動画1を登録

の場合、番組データ容量は、静止画1+動画1+静止画2+動画1の容量の総和になります。

注2) 配信後、OSDの「メモリーカード」により、SDカード占有領域を確認することができます。

注3) 番組の構造により、上限の容量は上がります。

実際の上限は、番組データ容量(注1参照)と配信データ量の合計が、SDメモリーカード容量の90%以内に収まるまでです。

配信データ量は、番組データで登録した静止画、動画、音声ファイルの総和になりますが、同じファイルは一つになります。

(番組データ容量は、同じファイルも登録した分占有します。)

例) 番組1：静止画1、動画1






番組2：静止画2、動画1

の場合、配信データ容量は、静止画1+静止画2+動画1の容量の総和になります。

困ったときには (起動、映像・音声出力、リモコン、OSD)

症状	状態	原因と対策	参照ページ
電源が入らない	ディスプレイ本体の電源ランプが点灯しない	ディスプレイ本体の取扱説明書の”困ったとき”を参照してください。	—
映像／音がでない	画面に映像が表示されない	番組がない時間帯はパワーセーブモードに入ります。番組開始時間になると自動的に電源ONし、番組を表示します。	P7
		ディスプレイの「OPTION」入力が選択されているか確認してください。リモコンの「OPTION」ボタンで選択できます。	P4
	DVI 出力コネクタから映像が表示されない音がでない	メディアプレーヤーがディスプレイに奥まで確実に装着されていることを確認してください。	P2
		外部ビデオ映像を使用する番組は、DVI出力コネクタへは表示しません。ディスプレイ本体の取扱説明書の”困ったとき”を参照してください。	P12
リモコンが動作しない		ディスプレイ本体の取扱説明書の”困ったとき”を参照してください。	—
番組がない時間帯にパワーセーブモードに入らない		ディスプレイのOPTIONパワーセーブモード設定が「ON」になっていることを確認してください。	P6
		OSD画面内の「アドバンスト」→「電源供給」の設定が「供給しない」の場合、パワーセーブには入りません。	P6, 7
タイマー機能が正常に動作しない	電源ONしない	ディスプレイのスタンバイモード設定が「スタンバイ」になっていることを確認してください。	P6
	電源OFFしない	メディアプレーヤーの「電源供給」設定が「供給する」になっていることを確認してください。	P10
起動時、注意画面が表示される	「It failed to access the memory card.」が表示された	メモリーカードが外れている可能性があります。確実に装着されているか確認してください。	P2
	「It failed to recover library(.img) file. There is no library file in the memory card.」が表示された	メモリーカードを取り出し、コンピューターで.imgという拡張子を持つファイルが存在することを確認してください。存在しない場合は、付属のユーティリティディスクまたは弊社ホームページから入手してコピーしてください。	P25
	「現在、表示予定のプログラムはありません」が表示された	日時の設定が正しいか確認してください。	P6, 10
	「USBメモリを検出しました。[SET]でUSBメモリより、コンテンツをアップデートします」が表示された	オーディオ設定に誤りがないか確認してください。誤りがあれば、スケジュールを修正し、コンテンツアップデートしてください。	—
	「スライドショーをおこなうには、USBメモリを装着してください」または「動画再生モードをおこなうには、USBメモリを装着してください」が表示された	USBメモリーが装着されている場合に 표시됩니다。コンテンツアップデートをおこなわない場合は、EXITボタンを押してUSBメモリーを外します。	—
	「USBメモリの中にスライドショー用のファイルがありません。他のUSBメモリを装着してください」または「USBメモリの中に動画再生モード用のファイルがありません。他のUSBメモリを装着してください」が表示された	スライドショーモードまたは動画再生モードになっています。静止画または動画の入ったUSBメモリーを接続してください。このモードで使用しない場合は、EXITボタンを押して終了し、OSD画面の「スライドショー」でスライドショーモードまたは動画再生モードを「標準モード」に設定してください。	P10, 11
コンテンツアップデートができない	USBメモリーを装着した状態で電源を入れても、「USBメモリを検出しました。[SET]でUSBメモリよりコンテンツアップデートします」のメッセージが表示されない	コンピューターでUSBメモリー内にmediaという名称のフォルダーがあることを確認してください。mediaという名称のフォルダーがない場合は、オーサリングソフトウェアで番組データをUSBメモリーへ保存してください。	—
		USB延長ケーブルの接続を確認してください。	P5
		USBメモリーのフォーマットがNTFSフォーマットでないことを確認してください。	—
		暗号化されていないUSBメモリーであることを確認してください。	—
		別のUSBメモリーを試してください。(推奨品を当社ホームページで確認ください。)	—
	「コンテンツファイルが見つかりません。コンテンツアップデートを中断しました」が表示された	オーサリングソフトウェアで、番組データをUSBメモリーへ保存してください。	—
	「コンテンツのデータ容量が大きすぎます。容量を減らし、アップデートしてください」が表示された	オーサリングソフトウェアで、容量が減るように、番組を削減してください。コンテンツの最大容量は、1.8Gbyte(付属のメモリーカード(2Gbyte)の場合)です。	—
	起動時にスライドショーが始まる	「スライドショーモード」が設定されています。スライドショー表示中に「MENU」ボタンを押してOSDメニューを表示し、スライドショーを「標準モード」に設定してから再起動してください。	P10, 11
OSDタイマ機能が動作しない	OSDメニュー内のタイマーの設定値が、設定できない	コンテンツアップデートにより電源制御が設定されると、タイマー機能は無効になります。	P10
自動的に電源が切れてしまう		タイマーまたはオーサリングソフトウェアで電源制御が設定されていないか確認してください。設定されている場合は、必要に応じて解除してください。オーサリングソフトウェアの電源制御の解除についてはオーサリングソフトウェアの取扱説明書の電源管理を参照してください。	—
スライドショーまたは動画再生モードが動作しない	電源起動時、「USBメモリの中にスライドショー用(または動画再生用)のファイルがありません。他のUSBメモリを装着してください。」のメッセージが表示された	USBメモリーに静止画または動画が入っているか、または、OSDメニューの「スライドショー」より、フォルダ設定の確認をしてください。	P10, 11
	USBメモリーを装着しているが、電源起動時、「スライドショー(または、動画再生モード)をおこなうには、USBメモリを装着してください」が表示された。	静止画ファイルまたは動画ファイルが、本機で扱えるファイルかを確認してください。	P27
	起動時にコンテンツアップデートの確認画面が表示される、または既存の番組が表示される。	USB延長ケーブルの接続を確認してください。	P5
		別のUSBメモリーを試してください。(推奨品を当社ホームページで確認ください。)	—
		OSD画面の「スライドショー」で、「スライドショーモード」が選択されているか確認してください。	P10, 11

困ったときには (番組、コンテンツ表示)

症状	状態	原因と対策	参照ページ
動画が正常に表示されない	「非対応の映像コーデックを使用した動画です。対応した映像コーデックの動画をご使用ください。」が表示される、何も表示されない、または、  が表示される。	表示しようとしている動画ファイルのコーデックが、本機で扱えるコーデックかを確認してください。	P27
	「非対応の映像コーデックを使用した動画です。対応した映像コーデックの動画をご使用ください。」が表示される、何も表示されない、または、  または  が表示される。	ファイルが開けない、または再生できません。未サポートのファイルフォーマットの可能性があります。「コンテンツの仕様」を確認してください。またはファイルが壊れている可能性があります。コンピューター上で再生できるかを確認してください。	
	「非対応の映像コーデックを使用した動画です。対応した映像コーデックの動画をご使用ください。」が表示される、何も表示されない、または、  が表示される。	動画のビットレートが、最大値を超えていると、表示されません。動画編集用ソフトウェアを用いて、ビットレートを小さくしてください。参考) (動画ファイルサイズ(Byte)/再生時間(秒)) × 8bit > 最大ビットレートの動画の場合、表示しません。	
	動画は表示されるが、動画の音がでない メディアプレーヤーで番組を表示する際、縦型レイアウトで、動画が90度回転しない	動画ファイル内のAudio(音声)が、本機で扱えるファイルかを確認してください。 縦型レイアウトで動画は自動的に回転しません。オーサリングソフトウェアのご使用前に、動画編集用ソフトウェアを使用して回転させてください。 著作権保護機能を含む動画は、再生できません。	
静止画が正常に表示されない	「この画像形式には対応していません。画像のファイル形式を確認してください。」が表示される、表示されない画像がある、または、  が表示される。	表示しようとしている画像ファイルのフォーマットが本機で扱えるものかどうかを確認してください。 表示しようとしている画像ファイルのコーデックが、本機で扱えるコーデックかを確認してください。	P27 P27
	まったく表示されない 特定の文字が表示されない 縦型レイアウト選択時、特定文字が回転しない テロップ表示が開始するまでに時間がかかる テロップの表示速度が遅い	オーサリングソフトウェアのテロップ設定を確認してください。 半角の" < "または" > "が、あると、表示されません。全角にしてください。 ごく一部の特殊な文字は表示できない場合があります。 回転すると不自然な記号=、(、)、 、 等は、回転しないようになっています。 テロップの文字数が増えるにつれ、表示開始までに時間がかかります。 100文字で、およそ7秒かかります。 テロップの高さは画面全体の高さの30%以下にしてください。	— — — —
外部ビデオを使用した番組がDVI出力コネクタに出力されない。		外部ビデオを使用した番組はDVI出力コネクタに出力されません。	P12
番組と番組の間で、何も表示されない		動画の切り替え時には10数秒間映像と音声が出ない時間帯がありますが、故障ではありません。	—
スケジュール設定の通りに表示されない		オーサリングツールのスケジュール設定に誤りがないかを確認してください。誤りがあれば、スケジュールを修正し、コンテンツアップデートしてください。 日時の設定が正しいかを確認してください。	— P6, P10

困ったときには (LAN使用時)

症状	条件	オーサリングソフトウェアエラーコード	原因と対策	参照ページ
・配信できない ・接続テストで接続できない。	固定IP設定の場合	エラーコード:-1 エラーコード:102	オーサリングソフトで設定したIPアドレスが正しいか確認してください。 メディアプレーヤーのネットワーク設定が正しいか確認してください。 メディアプレーヤーのIPアドレスが重複していないか確認してください。 コンピュータのネットワーク設定を確認してください。	P15, 16
		DHCP設定の場合	エラーコード:-1 エラーコード:100 エラーコード:102	ルータのDHCPサーバが有効になっていることを確認してください。 メディアプレーヤーのメディアプレーヤー名が正しいか確認してください。 オーサリングソフトウェアのメディアプレーヤー名が正しいか確認してください。 メディアプレーヤー名が重複していないか確認してください。 ※アルファベットの太文字/小文字は区別されません。
	固定IP/DHCP設定共通		エラーコード:-1 エラーコード:100 エラーコード:101 エラーコード:102	LANケーブルの接続を確認してください。 ルーター、ハブの電源がONであることを確認してください。 ファイアウォールやセキュリティソフトにより、ポート番号を閉じていないか確認してください。本機は、メディアプレーヤーから送信時は、137、138、1900を使用します。オーサリングソフトウェアから送信時は、任意のポートを使用します。
		エラーコード:434	メディアプレーヤーは起動中です。少し時間をおいてから再配信してください。	—
		エラーコード:441	メディアプレーヤーはアップデート処理中です。少し時間をおいてから再配信してください。 SDメモリーカードの容量が不足しています。番組データを減らす、または、容量の大きいSDメモリーカードへ変更してください。	P25
	オフラインの場合 (USBメモリー使用)	エラーコード:501 エラーコード:507	USBメモリーを検出できなかった可能性があります。再装着してください。 暗号化したUSBメモリーの可能性があります。本機では扱えません。 1ファイルの容量が、上限の4G byteを超えていないか確認してください。	—
	WEB設定画面が開けない。	ユーザ名、パスワード入力でエラー		ユーザ名: default、パスワード: 0000を入れてください。
メディアプレーヤー名が設定できない。			アルファベットで始まる15文字以内の半角アルファベット、数字で設定してください。スペース、記号は使用できません。入力後はSubmitボタンをクリックしてください。	P17, 18, 19
選択ボタンが表示されない。			Internet Explorer以外のブラウザ使用時に発生する場合があります。	—

お知らせ

接続テストで問題ある場合、次ページを参照ください。

困ったときには (Ping コマンドによる LAN 接続テスト)

LAN経由で配信ができない場合、コンピュータのPingコマンドにより、LAN接続テストを試してください。

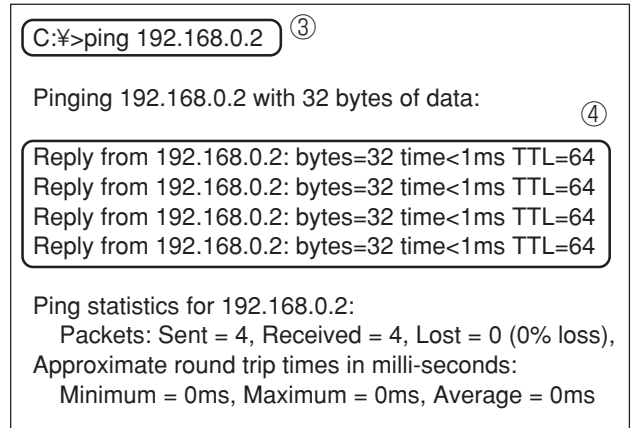
固定IPアドレスの場合

① OSDの「ネットワーク」からIPアドレスを調べます。



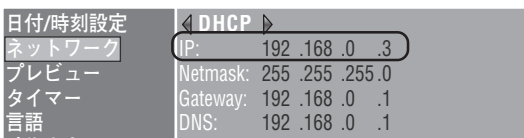
- ② コンピューター上でWindowsのコマンドプロンプトを起動します。
- ③ C:¥>ping <IPアドレス> を実行します。
- ④ Replyの表示が出れば接続できています。

コマンドプロンプト画面

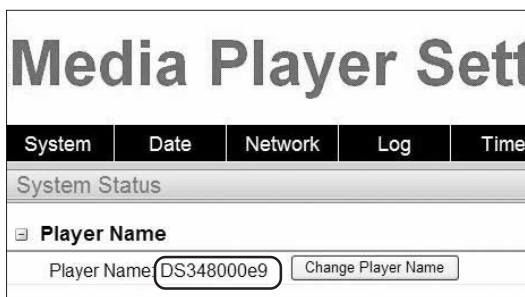


DHCPサーバ使用時の場合

① OSDの「ネットワーク」からIPアドレスを調べます。

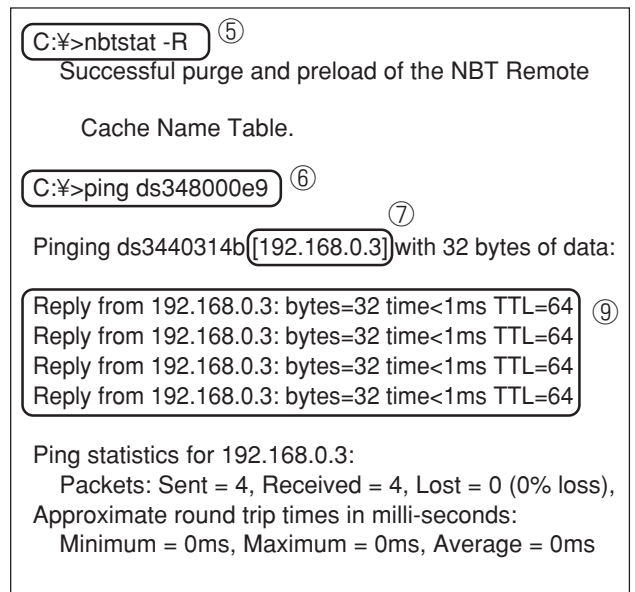


- ② コンピューター上でInternet ExplorerのURL欄に http://<IPアドレス> を入力
- ③ WEB設定画面が開いたらメディアプレーヤー名を確認します。



- ④ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。
- ⑤ C:¥>nbtstat -R を実行します。
- ⑥ C:¥>ping <メディアプレーヤー名> を実行します。
- ⑦ IPアドレスが表示されることを確認します。
- ⑧ ①のIPアドレスと一致することを確認します。
- ⑨ Replyが返っていれば接続できています。

コマンドプロンプト画面



お知らせ

接続できない場合は、LANケーブルの接続、メディアプレーヤーおよびコンピュータの設定、ディスプレイの電源供給を再確認してください。

このテストで接続はできるが、配信できない場合は、ファイアウォールやセキュリティソフトがFTP通信をブロックしている設定になっていないかを確認してください。

動画の最大再生時間

付属のメモリーカード(2Gbyte)の場合、目安として以下のようになります。

※再生時間は、SDメモリーカードの容量、VIDEOとAUDIOのビットレートにより、変わります。静止画、テロップは含みません。

SDメモリーカード容量	ビットレート		再生時間(分)	備考
	VIDEO	AUDIO		
2Gbyte	25Mbps	128kbps	10	1920 x 1080 MPEG2
2Gbyte	10Mbps	128kbps	25	1920 x 1080 WMV9
2Gbyte	6Mbps	128kbps	40	720 x 480 MPEG2

以下の計算式で、おおよその時間が求められます。

再生時間(秒)=(SDメモリーカードの容量(Gbyte)x0.9)x1024(Mb)x1024(kb)x8bit÷((VIDEOのビットレート(Mbps)X1024(kb))+AUDIOのビットレート(kbps))

例) SDメモリーカード:2Gbyte、VIDEOのビットレート:10Mbps、AUDIOのビットレート:128kbpsの場合
(2Gx0.9x1024x1024x8)÷(10x1024+128)=25分

メモリーカードについて

付属のメモリーカードにはあらかじめファームウェア(拡張子が.imgのファイル)が書き込まれています。誤って消去した場合は、弊社ホームページより最新のファームウェアをダウンロードし、コピーしてください。

市販のSDメモリーカードを本機のメモリーカードとして使用する場合は、弊社ホームページで推奨しているSDメモリーカードをご購入いただき、最新のファームウェアをメモリーカードへ書き込んでください。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口

NEC モニター・インフォメーションセンター

フリーコール：0120-975-380

受付時間：月～金 9:00～18:00

土・日・祝祭日、は休ませていただきます。また、これ以外の
当社休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所(付近の目標など)
- 電話番号
- 品名:メディアプレーヤー
- 型名:SB-L008KU
- 製造番号(本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)
- 購入年月日または使用年数

仕様

メディアプレーヤーSB-L008KU対応ディスプレイ

LCD-P401、LCD-P461、LCD-M401、LCD-M461、LCD-X461HB、LCD-P521、LCD-P701、LCD-X431BT、LCD-S521、LCD-S521-P

メディアプレーヤー(SB-L008KU)仕様

項目		仕様
内部 インタフェース	内部映像出力	解像度 1920 x 1080 / 60Hz (出荷設定値) 1360 x 768 / 60Hz
	音声出力	アナログ音声出力 ラインアウト L/R x 1
	DC電源入力	+16V
	SDカードインタフェース	SDカードインタフェース x 1 最大容量: 8Gbyte (添付SDカード: 2Gbyte)
	映像出力 (内部映像出力と同じ信号を出力)	解像度 1920 x 1080 / 60Hz (出荷設定値) 1360 x 768 / 60Hz インタフェース DVI-D
外部 インタフェース	USBメモリインタフェース	USBメモリのみの対応。最大USBメモリ容量: 8 Gbyte
	LAN	コネクタ: RJ45 x 1, 10/100BASE-TX コネクタ: Mini DIN 7P
	ビデオ入力	S video: NTSC / PAL コンポーネント入力 ※1 1080i, 720p: 60Hz, 50Hz, 480p, 480i: 60Hz, 576p, 576i: 50Hz
	音声入力	ライン入力 L/R x 1, ステレオ3.5φミニジャック
時計機能	バックアップ電池	コイン型リチウム電池 BR2032
外部記憶 デバイス	SDメモ리카ード	2Gbyte SDメモ리카ード添付 ※推奨品: 弊社WEBサイトに掲載
	USBメモリ	インタフェースUSB2.0準拠。別途準備をお願いします。※推奨品: 弊社WEBサイトに掲載
添付 ソフトウェア	オーサリングソフトウェア	番組データを作成するソフトウェア OS: Windows XP, Vista
	Viewer PPT converter	PowerPointファイルを静止画へ変換するソフトウェア OS: Windows XP, Vista
本体外形寸法		247.6(W) x 143.6(D) x 33.7(H).
電源		DC入力 +16V ±5%
消費 電力	標準	メディアプレーヤー単体: 12W (DC電源入力)
	スタンバイ時 または、 パワーセーブ モード時 ※2	メディアプレーヤー単体: 11W (DC電源入力) ディスプレイ含む総消費電力: 約35W。 メディアプレーヤー: 0W (DC電源入力) ディスプレイ含む総消費電力: ディスプレイのスタンバイ時の電力と同等
法規		不要輻射 VCCI-A
梱包状態寸法		個装箱 376.0 mm(W) x 85.0 mm(H) x 225.0 mm(D)
重量		本体のみ 1.0kg 個装箱梱包状態 1.5kg
温度		使用条件 0~40°C 保管環境条件 -10~60°C
湿度		使用条件 10~80% (結露のないこと) 保管環境条件 10~90% (結露のないこと)

※1 外部ビデオ映像を使用する番組は、DVI出力コネクタへは表示しません。本装置を装着したディスプレイにのみ表示します。

※2 パワーセーブモード
番組未設定の時間帯には、節電のためにパワーセーブモードに入ります。復帰させる場合は、電源ONボタンを押すことにより起動します。

※3 通常は「供給する」で使用してください。

※4 「供給しない」場合は、メディアプレーヤーの電源タイマー機能および、電源OFF時のLAN経由の番組配信は利用できません。

オーサリングソフトウェア仕様

レイアウト機能	動画ファイル(または、ビデオ入力映像)、静止画ファイル、テロップを画面上にレイアウト	
テロップ作成	日本語、英語	
スケジュール作成	・作成した番組を毎日または個別にスケジュール設定 ・週毎にメディアプレーヤーの電源ON/OFF制御の設定	
番組の配信	LAN経由の配信数: 最大20台 USBメモリへ出力	
推奨 コンピューター 条件	CPU	INTEL Pentium 3 1.0GHz以上推奨
	メモリ	256Mbyte以上
	解像度	1024 x 768, 65,536色以上
	対応OS	Microsoft Windows Vista Ultimate 32bit版
		Microsoft Windows Vista Business 32bit版
		Microsoft Windows XP Professional 32bit版
		Microsoft Windows XP Home Edition 32bit版
その他	Microsoft Windows 7 Professional 32bit版	
	Microsoft Windows 7 Home Premium 32bit版	
	Windows XP の場合、Microsoft .NET Framework Version 2.0 または3.5	

Viewer PPT Converterソフトウェア仕様

ソースファイル	Microsoft PowerPointファイル (*.PPT)	
変換出力ファイル	変換フォーマット: JPEG/PNG/BMP 解像度: 最大1920 x 1080ドットまで	
推奨 コンピューター 条件	CPU	INTEL Pentium 3 1.0GHz以上推奨
	メモリ	256Mbyte以上
	解像度	1024 x 768, 65,536色以上
	対応OS	Microsoft Windows Vista Ultimate 32bit版
		Microsoft Windows Vista Business 32bit版
		Microsoft Windows XP Professional 32bit版
Microsoft Windows XP Home Edition 32bit版		
PowerPoint	Microsoft Windows 7 Professional 32bit版	
	Microsoft Windows 7 Home Premium 32bit版	
	Microsoft Windows 7 Ultimate 32bit版	
PowerPoint	以下のいずれかがインストールされている必要があります。 PowerPoint 2000 PowerPoint 2002 PowerPoint 2003 PowerPoint 2007	

制限事項

- PowerPointへのアドイン機能
本機では、アドイン機能に対応しておりませんので、登録はしないでください。
- オプション設定の「スライドの切り替え方法」
そのままの設定で、ご使用ください。「切り替え時間」を選択しても無効になります。
- 静止画フォーマット
出力するファイル選択の際、本機で対応している静止画フォーマットのみを指定してください。対応しているフォーマットは、jpeg、BMPフルカラー、PNGフルカラーです。

仕様(つづき)

コンテンツの仕様

(1)動画ファイル

種別	Video /Audio	詳細仕様	拡張子	最大容量/動画ファイル
WMV9 注6)	Video	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック Windows Media Video 9 (WMV3) ・ビットレート 標準解像度(720 x 480まで) : 最大20Mbps 高解像度(1920 x 1080または1280 x 720) : 最大35Mbps ・最大解像度 1920 x 1080 25p(プログレッシブ) 1280 x 720 30p(プログレッシブ) 	注1) 注4)	FAT16:2Gbyte FAT32:4Gbyte 注7)
		<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック Windows Media Video 9 Advanced Profile (WMVA) ・ビットレート 標準解像度(720 x 480まで) : 最大20Mbps 高解像度(1920 x 1080または1280 x 720) : 最大35Mbps ・最大解像度 1920 x 1080 25p(プログレッシブ)、50i(インターレース) 1280 x 720 30p(プログレッシブ)、60p(プログレッシブ) 		
	Audio	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック Windows Media Audio 9 (最大2ch) Windows Media Audio 9 Professional(最大2ch) 	注5)	
MPEG1 注6)	Video	コーデック: MPEG-1 Video	注4)	.mpg .mpeg
	Audio	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック:MPEG-1 Audio layer2 ・ビットレート: 最大384kbps ・チャンネル数: 2ch ・サンプリングレート: 16bit/24bit、32kHz/44.1kHz/48kHz 		
MPEG2 注6)	Video	<ul style="list-style-type: none"> ・ビットレート 標準解像度(720 x 480まで) : 最大20Mbps 高解像度(1920 x 1080または1280 x 720) : 最大35Mbps ・最大解像度 1920 x 1080 25p(プログレッシブ)、60i(インターレース) 1280 x 720 60p(プログレッシブ) 	注3) 注4)	.mpg .mpeg .m2p .m2v .ts .vob
	Audio	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック MPEG-1 Audio layer 2、MPEG-2 Audio layer 2、 MPEG-1 Audio layer 3、MPEG-2 Audio layer 3 ・ビットレート Layer 2: 最大384kbps Layer 3: 最大320kbps ・チャンネル数: 2ch ・サンプリングレート 16bit/24bit、32kHz/44.1kHz/48kHz 		

注1) MP@HL (Main Profile, High Level): 1280x720 30p または 1920x1080 25p まで以下は非対応です。

- ・Complex Profile
- ・インターレースモード
- ・WMV9 BETA エンコーダで作成したファイル
- ・WMV1 または WMV2

注2) MP@HL (Main Profile, High Level):1280x720 30p または 1920x1080 25p まで AP@L3 (Advanced Profile, L3 Level):1920x1080 50iまたは1920x1080 25p または1280x720 60p まで以下は非対応です。

- ・Complex Profile
- ・WMV9 BETA エンコーダで作成したファイル
- ・WMV1 または WMV2

注3) MP@HL (Main Profile, High Level):1920x1080 25pまたは1920x1080 60i または1280x720 60p まで

注4) ・著作権保護機能を含むファイルは再生できません。

・(動画ファイルサイズ(Byte)/再生時間(秒)) × 8bit > 最大ビットレートの動画は、表示されません。

注5) Windows Media Audio Losslessで録音されたWMAファイルは非対応です。

注6) 記載されている仕様に対応していない動画ファイルはスキップされて次の動画ファイルが表示されます。他に表示できる動画ファイルがない場合はエラーメッセージが表示されます。また、Videoのコーデックが仕様に对应しており、Audioのコーデックが対応していない場合は、映像は表示されますが音声は出力されません。

注7) SDメモリーカードのフォーマットにより変わります。付属のメモリーカードはFAT16でフォーマットされています。

(2)静止画ファイル

種別	詳細	拡張子	解像度
JPEG	ベースラインJPEGに対応	.jpeg、.jpg	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚 / 画面のレイアウト 最大2047 x 2047ドット ・2枚 / 画面のレイアウト 最大1920 x 1080ドットまたは 最大1080 x 1920ドット
PNG	RGB 24 bit formatに対応	.png	
BMP	24bpp (ビット/ピクセル)に対応 8bpp、16bpp、32bppは非対応	.bmp	

(3)音声ファイル

種別	詳細	拡張子
MP3	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック MPEG-1 Audio layer 2、MPEG-2 Audio layer 2、 MPEG-1 Audio layer 3、MPEG-2 Audio layer 3 ・ビットレート Layer 2: 最大384kbps Layer 3: 最大320kbps ・チャンネル数: 2ch ・サンプリングレート 16bit/24bit、32kHz/44.1kHz/48kHz 	.mp3

ソフトウェアの著作権などに関する情報

本商品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。オープンソースソフトウェアの使用条件については、下記を参照ください。また、各オープンソースソフトウェアの公式ホームページも参照してください。

お知らせ

“ソフトウェアの著作権などに関する情報”は ユーティリティディスクの“Software license information.pdf”にあります。

GNU Lesser General Public License (“GNU LGPL”) :(ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.3 ~ p.16)

- ・DirectFB

GNU General Public License version 2 (“GNU GPL v.2”):(ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.17 ~ p.26)

- ・The Linux operation system kernel
- ・BusyBox
- ・FreeType
- ・Wget
- ・Linux fusion
- ・Dosfstools

下記ソフトウェアのライセンスについては以下のページをご覧ください。

- ・Intel® SDK for UPnP™ Devices (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.27)
- ・Net-SNMP (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.28 ~ p.34)
- ・Thttpd (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.35)
- ・Pure-FTPd (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.36)
- ・Libjpeg (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.37 ~ p.39)
- ・Libpng (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.40 ~ p.43)
- ・TinyXML (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.44)

下記ソフトウェアのコピーライトについては以下のページをご覧ください。

- ・Ntpdate (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.45)

上記ソフトウェアの著作権はそれぞれの所有者にあります。

本商品にはGPL/LGPL適用ソフトウェアを使用しており、お客様には該当するソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。ソースコードの入手については下記URLを参照してください。

<http://www.coretronic.com/digisign/691/index.html>